

「府政運営の基本方針 2020」改定（案）について

府政運営の基本方針 2020	「府政運営の基本方針 2020」改定（案）
<p>第1 基本方針</p> <p>1. 基本的な考え方</p> <p>令和2年度は、2025年、さらにその先の将来を見据え、「世界の中で躍動し、成長し続ける大阪」の実現に向けた取組みを加速させていく年。</p> <p>これまで、たゆまぬ行財政改革や、府市一体で「成長と安全・安心のよき循環による豊かな大阪の実現」に向けた取組みを進め、成長がようやく軌道に乗り始めている。</p> <p>G20大阪サミットの成功や百舌鳥・古市古墳群の世界遺産決定など、世界の中で大阪の存在感が向上する中、2025年大阪・関西万博を控え、大阪は次の飛躍のステージへのターニングポイント。成長により得られた果実を、未来を担う子どもたちをはじめ、府民の豊かな暮らしに還元していくとともに、サミットのレガシーや万博のインパクトを最大限に活用した取組みを推し進め、成長を確たるものにしていかなければならない。</p> <p>そのためには、まず、成長の土台となる安全・安心に万全を期す必要。いのちを守り、成長を支える危機対応力を強化する。昨年末に中国で発生し、世界で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症に対しては、国をはじめ、</p>	<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">新型コロナウイルスが、世界でパンデミック化し、府民の命や暮らし、社会経済活動などにも様々な影響を及ぼしている。これらの影響を踏まえ、府民の命を最優先に、感染拡大の抑制と社会経済活動の維持との両立に重点的に取り組んでいくため、以下の通り、基本方針を改定する。</p> <p>第1 基本方針</p> <p>1. 基本的な考え方</p> <p>新型コロナウイルスが、世界中の人々の尊い命と健康を脅かし、経済にも大打撃を与えている。そのような中、府では、府民の命を守ることを最優先に、感染拡大の第1波を抑え込む一方で、コロナにより経済活動が停滞し、大きな影響が生じている事業者に対する支援金や新たな制度融資の創設など、かつてない規模の対策を講じている。</p> <p>一旦は落ち着いたかに見えた感染者数の状況が日々変化するなど、コロナとの厳しい闘いは長期戦となる。「コロナとの共存」を前提に、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念も踏まえ、真に支援が必要な府民や事業者をしっかり支えながら、未曾有の危機を乗り越えていく。そして、2025年大阪・関西万博も見据え、コロナを克服した先にある、「世界の中で躍動し、成長し続ける大阪」の未来をつくっていく。</p> <p>そのために、医療・経済の両面から府民の命を守るため、感染拡大の抑制と社会経済活動の維持との両立を図る。</p> <p>まず、今後の感染拡大の波に備え、「大阪モデル」による感染拡大防止の</p>

関係機関、市町村とも連携し、感染拡大の防止や経済への影響に対する支援などに全力で取り組んでいく。そして、こうした未知の感染症をはじめとする健康危機事象や従来の想定を超える自然災害、それらに伴う経済へのダメージにも屈しない体制を充実・強化し、危機を乗り越え成長できる、強靱な大阪をつくり上げていく。

あわせて、万博を契機として、さらなる成長や世界の課題解決の貢献につながる取組みを推進する。万博成功に向けては、関係者の力を結集し、あらゆる準備を加速させていく。そして、10歳若返りやサミットで共有された「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」を踏まえた取組みなど、世界の先頭に立って「SDGs先進都市」をめざす取組みを進める。加えて、先端技術の活用による府域全体のスマートシティ化の推進や、強みである健康・医療関連産業の振興、スタートアップ・エコシステムの構築をはじめ、イノベーションの促進などにより、さらなる成長軌道へ押し上げを図る。

さらには、IR誘致の推進をはじめ、多様な価値を創造するまちづくりの推進など、国内外の人々を引きつける都市魅力に磨きをかける。

そして、大阪が将来にわたり活気にあふれ、元気なまちであり続けるために、成長の源泉として必要となるのが「人」の力。とりわけ、次代の大阪を担う子どもたちへの施策を拡充させる。重大な児童虐待『ゼロ』をめざす取組みや、府大・市大の授業料等の無償化など、子どもたちの成長を支えるセーフティネットや教育の充実に一層注力する。

あわせて、女性や高齢者、障がいのある方々、外国人など、誰もが安心して暮らし、生涯を通じて心身ともに健康で活躍できる環境整備を進めていく。

そのうえで、東西二極の一極として、日本の成長をけん引する「副首都・大阪」へと力強く前進できるよう、将来にわたる持続可能な成長・発展の基盤となる大阪都構想の実現に向けた取組みを加速させていく。

施策の推進にあたっては、公園 PMO の導入など民間の経営的発想を大

推進をはじめ、検査・医療提供体制の確保・充実やクラスター対策の強化などにより、感染症対策を最大限に講じつつ、社会経済活動のダメージを最小限に抑えていく。

あわせて、大阪経済を支える取組みを強力に後押しする。外出自粛等により深刻な影響を受けている、宿泊、観光、飲食関連産業などに対する需要喚起の取組みを推進するとともに、雇用の不安を抱える女性や高齢者、若者に対する支援など、事業の継続や雇用を守る取組みを強化していく。

さらに、コロナ禍の暮らしを支えるセーフティネットを充実させる。所得の減少により生活に不安を抱える方や、高齢者、障がいのある方などが、安心して暮らせるよう、府民の生活を支える取組みをきめ細かく講じていく。

子どもたちに対しては、オンライン授業を含む ICT 教育の環境整備や、部活動の全国大会中止を受けた代替大会の開催支援など、学びを保障し、成長を育む取組みを推進する。

また、コロナによって、これまでの社会経済活動全般において、考え方や価値観が大きく転換。社会の変容を見据え、テレワークの推進や「3密」を回避する取組みなど、「新しい生活様式」への対応促進を図る。

そして、こうしたコロナ対策に重点的に取り組むとともに、コロナを乗り越えた先にある大阪の成長・発展の基盤を確かなものにしていく。

成長・発展を支える安全・安心に引き続き万全を期すため、これまで多くの自然災害に見舞われた教訓を糧に、災害対応力の強化を図る。

また、コロナ後の日本経済をけん引し、大阪の成長の起爆剤となる、2025年大阪・関西万博の成功に向けた準備をはじめ、府域全体のスマートシティ化やスタートアップ・エコシステムの構築、IR誘致の推進などの取組みを着実に進めていく。

コロナをはじめ、自然災害など様々な危機リスクを抱える我が国において、今まさに求められるのは、東京と並ぶ「強い自治体」。東西二極の一極とし

胆に取り入れ、最大の効果が得られるよう工夫を凝らすとともに、身近な行政サービスの担い手である市町村の基礎自治機能の充実を図るため、積極的なサポートを行うなど、連携して取組みを進めていく。

2. 政策創造の方向性（重点的に取り組む分野）

令和2年度は、基本的な考え方に沿って、「いのちを守り、成長を支える危機対応力の強化」を政策として上位に位置付けるとともに、「万博を契機とした成長・内外の課題解決をめざす取組みの推進」に重点的に取り組むこととする。あわせて、「都市魅力の向上」に加え、「未来を担う子どもたちが輝ける環境の充実」にこれまで以上に力を入れるとともに、「誰もが安心して暮らし、活躍できる環境の充実」に向けた取組みを着実に推進していく。

以上の柱立てで、次の重点的に取り組む分野を設定し、全庁一丸となって政策創造を図る。

（1）いのちを守り、成長を支える危機対応力の強化

- 健康危機事象への対応力強化
- 将来の自然災害に備えた防災・減災対策
- 自助・共助・公助の適切な連携による災害対応力の充実・強化

で、日本の成長をけん引する「副首都・大阪」を早急につくり上げなければならない。「副首都・大阪」へと力強く前進できるよう、持続可能な成長・発展の基盤となる大阪都構想の実現をめざす。

施策の推進にあたっては、市町村・企業・大学等とより一層連携していくとともに、最前線で行政サービスを担う市町村の基礎自治機能の充実を図るため、積極的なサポートを行うなど、全ての関係者の力を結集し、取組みを進めていく。

2. 政策創造の方向性（重点的に取り組む分野）

令和2年度の今後の府政運営にあたっては、基本的な考え方に沿って、「命を守る最大限の感染症対策」を政策として上位に位置付けるとともに、「大阪経済を支える集中的取組み」に重点的に取り組むこととする。

あわせて、「暮らしを支えるセーフティネットのさらなる充実」に注力するとともに、「コロナを乗り越えた先にある大阪の成長・発展の基盤づくり」を着実に推進していく。

以上の柱立てで、次の重点的に取り組む分野を設定し、全庁一丸となって政策創造を図る。

（1）命を守る最大限の感染症対策

- 今後の感染拡大の波に備えた検査・医療提供体制の確保・充実、クラスター対策の強化
- 重症化リスクの高い府民への対応強化
（院内感染対策の強化、福祉施設における感染防止策の推進など）

(2) 万博を契機とした成長・内外の課題解決をめざす取組みの推進

- 万博成功のための準備の加速
(博覧会協会に対する会場建設の補助、パビリオン等の地元出展検討など)
- SDGs 先進都市をめざす取組み
(健康寿命の延伸や 10 歳若返り、環境に配慮した対策など)
- 先端技術の活用によるスマートシティ化の推進
- 健康・医療をはじめ様々な産業分野でのイノベーションの促進、グローバル競争力強化

(3) 国内外の人々を引きつける都市魅力の向上

- IR の実現に向けた取組み
- 世界に存在感を示す都市魅力・都市空間の創造

(4) 未来を担う子どもたちが輝ける環境の充実

- 子どもの健やかな成長を支えるセーフティネットの充実
- 全ての子どもが平等にチャレンジし、可能性を追求できる教育の一層の充実

(5) 誰もが安心して暮らし、活躍できる環境の充実

- 全ての人々が安心して暮らせる総合的な安全対策の推進
- 生涯を通じて心身ともに健康に暮らせる福祉・医療のさらなる充実
- 多様な人材の活躍につながる取組みの強化

(2) 大阪経済を支える集中的取組み

- 打撃を受けている産業に対する需要喚起などの取組みの推進
- 事業の継続と雇用を守る取組みの強化

(3) 暮らしを支えるセーフティネットのさらなる充実

- 府民生活を支える取組みの強化
- コロナ禍における子どもたちの学びの保障、成長を育む取組みの推進
- 「新しい生活様式」への対応促進

(4) コロナを乗り越えた先にある大阪の成長・発展の基盤づくり

- 自然災害の教訓を踏まえた災害対応力の強化
- 将来の大阪の成長・発展を担う取組みの推進
(万博成功に向けた準備、スマートシティ化の推進、スタートアップ・エコシステムの構築、IR 誘致の推進など)

3. 行財政改革

財政規律を堅持しつつ、府民・企業・市町村・国との連携を深め、社会全体で課題解決する「起点」としての役割を果たしていくために、「組み換え（シフト）」と「強みを束ねる」を改革の視点として、「令和2年度大阪府行政経営の取組み」に基づき、自律的で創造性を発揮する行財政運営体制の確立を図る。

(1) 健全で規律ある財政運営の実現

◇令和2年度当初予算編成の基本的な考え方

財政再建は道半ばであり、依然として厳しい財政状況が続く中、「世界の中で躍動し、成長し続ける大阪」を実現していくため、大阪の成長を促し、府民の安全・安心を確保するための施策に限られた財源の重点配分を行う。

引き続き、財政運営基本条例に基づき、将来世代に負担を先送りしないことを基本に、財政規律、計画性及び透明性の確保に取り組み、健全で規律ある財政運営を行っていく。

◇厳しい財政状況への対応

2年2月の「財政状況に関する中長期試算〔粗い試算〕」では、海外経済の減速等を背景とした府税収入の伸び悩みや、減債基金の積立不足額の復元などがあり、今後も多額の収支不足額が続くと見込まれることから、2年度当初予算に計上する財政調整基金の取崩しについては、年度を通じた効果的・効率的な予算執行により、その縮減に努める。

3. 行財政改革

コロナ対策への財源の重点配分や事務事業等の見直しを機動的に行うとともに、府民・企業・市町村・国との連携を深め、社会全体で課題解決する「起点」としての役割を果たすなど、「組み換え（シフト）」と「強みを束ねる」を視点に、自律的で創造性を発揮する行財政運営を行う。

(1) 健全で規律ある財政運営の実現

◇令和2年度予算編成の基本的な考え方

依然として厳しい財政状況が続く中、これまで、医療・経済の両面から府民の命を守るため、累次の補正予算を編成しており、今後も、コロナ対策やコロナを乗り越えた先にある大阪の成長・発展のための施策に限られた財源の重点配分を行う。

そうした中でも、財政運営基本条例に基づき、将来世代に負担を先送りしないことを基本に、財政規律、計画性及び透明性の確保に取り組み、健全で規律ある財政運営を行っていく。

◇厳しい財政状況への対応

これまで、医療・経済の両面から府民の命を守るため、多額の財政調整基金を取り崩し、様々な対策を機動的に講じてきた。

2年2月の「財政状況に関する中長期試算〔粗い試算〕」では、今後も多額の収支不足額が続くと見込まれており、さらに、新型コロナウイルス感染症が経済に与える影響により、財政状況が一層厳しいものになることから、国交付金等の活用や、年度を通じた効果的・効率的な予算執行により、必要な財源確保に努める。

(2) 組織運営体制

◇自律的な改革を支える体制の構築

新たな課題に的確に対応し、最大のパフォーマンスを発揮することができるよう、求める人材を適切に確保するとともに、職員が働きやすい環境づくりを進め、女性職員を幅広い分野へ積極的に任用する。

また、再任用職員の短時間・フルタイム勤務の運用等、府庁の様々な人材を最大限活用することにより、必要な組織人員体制を整え、自律的な改革を進める。

◇働き方改革の実現

大阪府庁版「働き方改革」を踏まえ、柔軟な働き方の浸透を図るとともに、長時間労働の是正などに一層取り組み、働く職員の心身の健康確保・ワークライフバランス・女性活躍の促進等を図る。

◇令和 2 年度の組織体制と人員編成

府政の重要課題に適切に対応するとともに、効率的かつ効果的な行政運営を図るため、スマートシティ化の推進に向けてスマートシティ戦略部を設置するなど、必要な組織体制の整備を行う。

人員編成については、事務事業の見直しや事務の効率化等による組織のスリム化に努めつつ、安全・安心の確保に向けた取り組みや緊急かつ重要な行政需要に適切に対応していきことができるよう、重点的に人員を配置していく。

(2) 組織運営体制

◇令和 2 年度の組織体制と人員編成

事務事業の見直しや事務の効率化等による組織のスリム化に努めつつ、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先に必要な組織人員体制の整備を行うとともに、部局横断的な応援体制を敷いて柔軟な人員配置を図る。

◇働き方改革の実現

新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえつつ、大阪府庁版「働き方改革」をさらに進化させ、柔軟な働き方をより進めるとともに、長時間労働の是正などに一層取り組み、働く職員の心身の健康確保・ワークライフバランス・女性活躍の促進等を図る。

(3) 事務事業シフト

◇令和 2 年度の事務事業や組織・人員体制の見直し

新型コロナ対策に集中的・重点的に取り組むため、令和 2 年度当初予算で編成した事務事業や組織・人員体制について、緊急避難的に見直しを行う。

これにより確保した財源や人員については、新型コロナにかかる事業や組織体制の強化等に活用する。

第2 知事重点事業

「第1 基本方針」に基づき、以下のとおり知事重点事業を進める。

※「新規」：令和2年度から新たに位置付ける事業（前年度からの継続事業のうち、施策の再構築等により新たな段階に移行する継続事業を含む）

「継続」：前年度から継続して位置付ける事業

(1) いのちを守り、成長を支える危機対応力の強化

成長の基盤である安全・安心に万全を期し、リスクに強い強靱な大阪をつくり上げていくという観点から、感染症の集団発生時に迅速に対応する専門チームの設置や、国外から流入する感染症に対する地域の医療機関の対応能力向上などに取り組む。

また、今般の新型コロナウイルス感染症により、経済活動に影響が生じる事業者に対する府独自の融資制度を実施するなど、健康危機事象への対応力強化を図る。

さらに、森林の土石流・流木対策や耐震化の推進などの防災・減災対策のほか、先端技術を活用した情報収集・発信・避難支援に向けた調査、市町村の対応機能の強化促進など、ハード、ソフトの両面から災害対応力の充実・強化に取り組む。

○ 健康危機事象への対応力強化

新規	<ul style="list-style-type: none">・万博及び未来に向けた感染症対策の強化事業・輸入感染症対策強化事業・保健所機能強化事業・中小企業向け融資資金貸付金による健康危機事象への対応（大阪府新型コロナウイルス感染症対応緊急資金）
----	--

第2 知事重点事業

知事重点事業は、「第1 基本方針」に基づき、事務事業シフト会議による事務事業の見直しや、9月補正予算編成作業等を踏まえ、決定する。

継続	・大阪健康安全基盤研究所施設整備費補助金
----	----------------------

○ 将来の自然災害に備えた防災・減災対策

新規	<ul style="list-style-type: none"> ・森林防災・減災対策事業 ・建築物震災対策推進事業 ・災害医療機関施設整備事業
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・三大水門の更新 ・阪神なんば線淀川橋りょうの改築 ・防潮堤液状化事業（津波・高潮対策） ・避難行動の支援（洪水・土砂災害・高潮対策） ・密集住宅市街地整備促進事業 ・ため池防災・減災対策の拡充・強化

○ 自助・共助・公助の適切な連携による災害対応力の充実・強化

新規	<ul style="list-style-type: none"> ・先端技術等を活用した災害対応力強化事業 ・市町村の災害対策機能強化充実事業
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・災害派遣福祉チーム（DWAT）構築事業 ・災害時多言語支援事業

（２）万博を契機とした成長・内外の課題解決をめざす取組みの推進

「2025 年日本国際博覧会協会」との役割分担のもと、パビリオン等の地元出展検討、バリアフリー化の推進など、万博成功に向けた準備を本格化させる。

また、「いのち輝く未来社会」の実現に向け、府民の健康寿命の延伸や 10 歳若返り、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向けたプラスチック対策など、SDGs 先進都市をめざす取組みを推進する。

府域全体のスマートシティ化に向けては、府内市町村共有のデータ連携基盤

の整備やスマートスクールの推進など新たな取組みをスタートさせる。あわせて、3つのレス（はんこレス、ペーパーレス、キャッシュレス）の取組みを一層推進する。

さらに、大阪の強みである健康医療関連産業の世界的クラスター形成や、スタートアップへの支援、外国人材の受入れにかかる環境整備などの取組みを加速させていく。

○ 万博成功のための準備の加速

（博覧会協会に対する会場建設の補助、パビリオン等の地元出展検討など）

新規	<ul style="list-style-type: none"> ・先端技術等を活用した災害対応力強化事業【再掲】 ・万博及び未来に向けた感染症対策の強化事業【再掲】 ・都市緑化を活用した猛暑対策事業 ・鉄道駅・ホテルのバリアフリー推進 ・自転車通行環境整備事業
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・2025年日本国際博覧会推進事業

○ SDGs 先進都市をめざす取組み

（健康寿命の延伸や10歳若返り、環境に配慮した対策など）

新規	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs推進事業 ・受動喫煙防止対策推進事業 ・感染症対策等の推進（風しん・結核・エイズ等） ・新型インフルエンザ対策事業（抗インフルエンザウイルス薬等の備蓄） ・働き方改革 パソコン一斉シャットダウンシステム構築事業 ・バイオプラスチックビジネス等推進事業 ・プラスチック対策の推進
----	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解増進に関する事業 ・インターネット上の人権侵害の解消推進事業 ・ジェンダー平等啓発推進事業 ・児童虐待対応の拡充・強化（医療機関との連携強化事業） ・児童相談 IT ナビシステム再構築事業 ・SNS 活用相談体制調査研究事業 ・医療的ケア通学支援事業 ・小学生新学力テスト事業 ・小中学校における日本語指導推進事業 ・動物愛護管理基金事業（譲渡機会の拡大等）
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・いのち輝く未来社会をめざすビジョン推進事業 ・第2期健康寿命延伸プロジェクト事業 ・健康づくり支援プラットフォーム整備等事業 ・国民健康保険ヘルスアップ支援事業 ・依存症対策強化事業 ・持続可能な開発目標（SDGs）ビジネス創出支援事業 ・大阪ええまちプロジェクト事業 ・食品ロス削減対策推進事業
○ 先端技術の活用によるスマートシティ化の推進	
新規	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティ戦略推進事業 ・スマートシティ推進のための庁内 ICT 環境整備事業 ・RPA 推進事業 ・AI-OCR 試行導入事業 ・手数料収納キャッシュレス化推進事業

- ・府立学校スマートスクール推進事業
- ・先端技術等を活用した災害対応力強化事業【再掲】
- ・児童相談 IT ナビシステム再構築事業【再掲】
- ・SNS 活用相談体制調査研究事業【再掲】

○ 健康・医療をはじめ様々な産業分野でのイノベーションの促進、グローバル競争力強化等による産業基盤の充実

新規	<ul style="list-style-type: none"> ・健康医療関連産業の世界的クラスター形成 ・スタートアップ・エコシステムの構築に向けた取組み ・外国人材受入環境整備推進事業
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・国際ビジネス促進の拡充・強化（「大阪産業局」での取組み等） ・バッテリー戦略推進センター事業 ・ものづくりイノベーション等推進事業 ・クリエイティブ産業振興事業 ・事業承継支援の推進（小規模事業経営支援事業の一部）

（３）国内外の人々を引きつける都市魅力の向上

「世界最高水準の成長型 IR」の実現に向けた取組みを一層推進する。

また、「大阪城東部地区」や「広域ベイエリア」など、多様な価値を創造するまちづくりを推進する。

さらに、大阪の観光資源を活用した新たな仕掛けづくりや「大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点づくり」の推進、百舌鳥・古市古墳群世界遺産の活用、おもてなし力の強化など、府域全体での都市魅力のさらなる向上に取り組む。

○ IRの実現に向けた取組み

継続	・IR 事業化推進事業
----	-------------

○ 世界に存在感を示す都市魅力・都市空間の創造

新規	<ul style="list-style-type: none"> ・ランドデザインの推進 (大阪城周辺・広域ベイエリア・新大阪駅周辺地域) ・道路・鉄道ネットワークの整備 (淀川左岸線延伸部・なにわ筋線・大阪モノレール延伸) ・大阪周遊促進事業 ・万博記念公園駅前周辺地区活性化事業
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・うめきたまちづくり推進事業 ・聖火リレー支援協力事業及びオリンピック・パラリンピック等スポーツ機運醸成事業 ・ウェルカム大阪おもてなし事業 ・百舌鳥・古市古墳群世界遺産保存活用事業 ・大阪マラソン開催事業 ・大阪文化フェスティバル事業

(4) 未来を担う子どもたちが輝ける環境の充実

成長の源泉となり、次代の大阪を担う子どもたちへの施策にこれまで以上に力を入れていくという観点から、SNS を活用した相談窓口の開設など児童虐待対応のより一層の強化や、いじめ問題への新たな取組みなど、健やかな成長を支えるセーフティネットの充実に取り組む。

また、府大・市大の授業料等の無償化や医療的ケアを必要とする子どもの通学支援、学力向上への取組み、グローバルに活躍できる人材育成など、子ども

たちが自らの可能性を追求できる教育環境の充実を図る。

○ 子どもの健やかな成長を支えるセーフティネットの充実

新規	<ul style="list-style-type: none"> ・里親委託推進事業 ・児童虐待対応の拡充・強化（SNSを活用した児童虐待防止相談事業等） ・いじめ虐待等対応支援体制構築事業 ・SNS活用相談体制調査研究事業【再掲】 ・SNS等に起因した青少年の被害防止対策事業 ・新子育て支援交付金（優先配分枠分）
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの貧困緊急対策事業費補助

○ 全ての子どもが平等にチャレンジし、可能性を追求できる教育の一層の充実

新規	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府立大学・大阪市立大学等授業料等支援事業 ・新大学学舎整備事業 ・府立学校スマートスクール推進事業【再掲】 ・医療的ケア通学支援事業【再掲】 ・小学生新学カテスト事業【再掲】
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・私立高等学校等生徒授業料支援補助 ・医療的ケア児等に対する総合的支援 ・子ども輝く未来基金事業 ・高校生等海外進学支援事業（おおさかグローバル塾） ・実践的英語体験活動推進事業（グローバル体験プログラム）

(5) 誰もが安心して暮らし、活躍できる環境の充実

犯罪の発生情報等を効果的に提供する防犯アプリシステムの構築や高齢者に多い特殊詐欺被害の防止対策など、全ての人々が安心して暮らせる総合的な安全対策を推進する。

また、障がいがある方に対し総合的な支援を行う中核的拠点となる福祉情報コミュニケーションセンターの運営や不足が見込まれる介護・福祉人材の確保、若年者層の自殺対策など、誰もが生涯を通じて心身ともに健康に暮らせる福祉・医療のさらなる充実を図る。

さらに、重度障がい者の就業支援や、女性や若者、外国人など、多様な人材の活躍支援に取り組む。

○ 全ての人々が安心して暮らせる総合的な安全対策の推進

新規	・防犯アプリシステムの構築 ・交番・駐在所警戒カメラシステム整備
継続	・地域見守り力向上事業 ・犯罪被害者等支援事業 ・特殊詐欺被害防止緊急対策事業

○ 生涯を通じて心身ともに健康に暮らせる福祉・医療のさらなる充実

新規	・介護・福祉人材の確保 ・福祉情報コミュニケーションセンター管理運営事業 ・自殺対策強化事業（若年者層向け SNS 相談体制整備） ・医師確保対策事業（医師のキャリア形成支援）
継続	・重粒子線治療への支援 ・がん対策・肝炎対策の推進

	<ul style="list-style-type: none"> ・病床機能分化・連携推進のための基盤整備事業 ・在宅医療体制強化事業 ・死因調査等体制整備関連事業 ・地域限定保育士試験事業 	
○ 多様な人材の活躍につながる取組みの強化		
新規	<ul style="list-style-type: none"> ・重度障がい者就業支援事業 ・障がい者雇用に向けた企業の取組促進事業 ・小中学校における日本語指導推進事業【再掲】 	
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人のための一元的相談窓口の運営補助 ・外国人医療体制整備事業 ・外国人留学生就職支援事業 ・若者・大阪企業未来応援事業 ・OSAKA 女性活躍推進事業 	